



2024-25年度 第2650地区スローガン

持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動

Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第31回(通算3030回)2025年(令和7年)4月1日号

本日の例会(4月1日)

「地域貢献活動と経営」

宇都宮病院 副理事長 宇都宮越子 様

次回の例会(4月8日)

「父、井上ひさしから受け継いだ劇団」

こまつ座代表 井上麻矢 様

3月25日の例会報告

会長の時間

前回の例会をお休みさせていただきました。中井副会長、また丸野幹事にも例会進行で労を取っていただきまして、大変ありがとうございました。

さて、日本はGDPの2倍以上の国債を発行しております。財政破綻するのではないかと、官僚や政治家、また一部の経済学者の中で論じられることがあります。例として、実際にギリシャは破綻したではないかと言われます。イギリスはポンドを使用していますが、EUはユーロという通貨です。したがって、ギリシャはユーロ立ての国債で、自国で刷れる通貨を持っていないわけあります。自分たちで幾らでも刷ることができれば、多少インフレが起きたとしても償還は可能となります。しかし、刷れないから破綻となってしまいます。

また、過去に自国通過を持っているロシアやアルゼンチンの破綻がございました。しかし、彼らが発行した国債はドル建て国債であり、当然のこととして、ロシアもアルゼンチンもドルは刷れません。満期償還になれば、当然ドルで返さなければならぬわけで、集められなければデフォルトするのは自明の論理であります。日本が財政破綻しないのは、円建て国債であり、足らなければ刷ることができるからです。表面的な話題として、ギリシャやアルゼンチンなど、よく例に出でるその時点で、何も分かっていないのかなというふうにも思います。こういうことを知らない国民を洗脳するために、プライマリーバランス、財政の均衡を唱える人たちがいるということであります。

実際、財務省のホームページでは海外に向けては、「円建て国債で、かつほとんどの国債は日本国内で消化されているので、日本はデフォルトしない」と発信しているにもかかわらず、国内向けには「孫・

子の代に借金をつけまわすのか」と説明をしております。これは全くの詭弁であり、国民はこのダブルスタンダードに気づいていない人が多く、とても残念なことだと思います。

さらにつけ加えれば、国債発行残高が1300兆円を超えたと言っていますが、民間も合わせた日本国の総資産は2022年度で9704兆円、約1京円あることも国会において財務省の資料で明らかになっております。国のバランスシートはなお健全であり、これでも財政破綻すると流布するというのは、私にとって大変おかしなことかなというふうに思っております。

幹事報告

◎地区大会参加のお願い

4月6日になら100年会館で開催されます、2024-25年度地区大会でございますが、当クラブより現在52名の会員の方々にご参加の登録をいただいております。奈良RCがホストクラブということもございますので、まだ参加表明をいたしていない会員の方でもご都合の合う方は、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

◎前回の理事会で承認いただきました、事務局へのタイムカードの設置をさせていただきましたので、ご報告させていただきます。

誕生日祝

田中康正会員(3月25日)

結婚記念日祝

佐藤佳雄会員(3月26日)吉村定義会員(3月26日)

鈴木勝士会員(3月27日)涌田義昭会員(3月27日)

出川裕一会員(3月28日)池木啓仁会員(3月29日)

清水良彦会員(3月29日)

ニコニコ箱

・今日はもう春ですね。ただ、皆様、黄砂と花粉にお気をつけてください。結婚記念日祝を頂いて。

池木啓仁会員

・吉岡社会奉仕委員長様、本日は4月20日に開催されます「大和高田歴史ウォーク」の熱き想いの卓話、楽しみにしております。 丸野正徳会員

・本日、社会奉仕委員会の大和高田歴史ウォークの途中経過を卓話で報告させていただきます。4月20日皆様応援よろしくお願ひします。 吉岡弘修会員

・先日は広陵地区情報集会に会長はじめ役員の皆様、ご出席ありがとうございました。広陵地区の皆様お疲れさまでした。 白井健雄会員

4つのテスト〔言行はこれに照らしてから〕

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

- ・吉岡さん、卓話楽しみにしています。
垣本喜己会員
- ・連続欠席のお詫びとして。
吉村元嗣会員
- ・池田先生、先日はお世話になりました。
河村憲一会員
- ・良い事がありました。
酒本良司会員
- ・今年度もたくさんいいことがありました。皆様、ありがとうございました。
植田直穂会員
- ・誕生日祝を頂いて。
田中康正会員
- ・結婚記念日祝を頂いて。
牧浦 徹会員 清水良彦会員 松村實昭会員

第4回クラブフォーラム(社会奉仕)

社会奉仕委員会 吉岡弘修委員長

 本日は、本年度の主要事業の一つである「大和高田歴史ウォーク」について、その途中経過をお話させていただきます。

丸野幹事から、一昨年の10月に社会奉仕委員長をやつてほしいというお話をいただきました。去年の2月には補助金の申請のために準備を始めています。私もこういう事業を委員長としてやるのは本当に初めてですので、手さぐりの状況で事業を進めてまいりました。

大和高田市のランドマークである高田川の歴史を再発見しようということで、丸野幹事が次のような内容の事業を発案されました。「地域で暮らす子どもたちや地域住民に、旧高田川五橋顕彰碑スタンプマップを作成して、大和高田の魅力を再発見とともに、歴史の理解を深める。さらに、現在のハザードマップに照らし合わせ、いざというときの防災、減災意識を高めていただくことを目的とする。」

まずは大和高田の歴史を振り返ってみたいと思います。高田の地は奈良と五條を結ぶ下街道と伊勢街道との結節点であり、古代以来の莊園、平田莊の中心集落として高田郷が中世までに形成されました。中世は平田莊の莊官であった高田氏が高田郷の東側、現在の片塩小学校常光寺付近に高田城を築いて拠点とします。高田氏は戦国末期に筒井順慶によって滅ぼされ、高田城は廃城になりますが、1600年、本願寺12世法主准如が高田郷から高田川を挟んで西側の地に布教拠点として専立寺を創建すると、高田川西側地域は寺内町、そして商業を中心に発展してきました。

このように、農業主体でもともと高田郷の中心村落であった地域と、商家が立ち並ぶ寺内地域が、中世から近世にかけて高田村の中心地区として現在の大和高田市の原型を作りました。

かつて市の中心部を流れてきた高田川と、そこに架けられていた幾つかの橋、そしてそこを毎日行き交っていた人たちの賑わいに遠く想いを馳せたいと考えております。

今回のコースとしては、不動院からスタートして、右回りと左回りに回る予定をしております。五橋の顕彰碑は、古川橋、雛倉橋、好仁橋、大橋、天神橋にございます。

それでは、委員会での取組状況を報告させていただきます。

事業の実施時期としては、会長の意向もあり、桜の咲く頃、4月ぐらいをめどに検討を開始いたしました。昨年12月頃には村井会員から大和高田市の教育長をご紹介いただきましたので、実施時期について小学校の校長先生ともご相談し、さらに詰めることができました。4月は入学式等の行事もありますので、4月20日(日)がよいだろうということになりました。

年が開けて1月20日には、これも村井会員のご紹介でボランティアガイドの会長と面談させていただきました。こちらは、大和高田市で歴史の勉強会をされたり、ガイドとして案内などをされている団体です。私の「三、四百人も集まるのではないか」という予想に対し、学校任せにしていては5人か10人しか集まらないというアドバイスをいただきました。そう聞きまして頭が真っ白になりましたが、皆さんにお知恵を貸していただきまして、地元のサッカーチームや野球チームに声をかけることになりました。ここでもまた村井会員に段取りをしていただき、まさにおんぶに抱っこで大変お世話になっております。

また、参加者への記念品として、バッグとタオルの提供を、当クラブ会員から匿名でいただきました。予算が限られる中で、これも大変助かりました。

そして、市の広報誌への掲載も依頼し、こちらは4月に全家庭に配られる予定になっております。QRコードから直接エントリーしていただくような仕組みもつくりました。ですので、参加の締め切りは4月10日と設定しており、そこまでは何名集まるかは確定いたしません。最大200人までは予定しておりますけれども、100名以上になるというのは間違いないません。

人数によってロータリアンの皆さんにお願いする内容も変わってまいります。6から7人を予定している一つのグループには、必ず1人のロータリアンの方にご同行願いますが、人数が少なければボランティアガイドの方が一緒に回っていただけると思います。しかし、多くなりますと、ボランティアガイドの数が足りませんので、説明を行う各拠点に立っていただき、その場合はロータリアンが先導してコースを回るという予定をしております。

危ない箇所には警備員を配置するなど、工夫もいたしますが、その他の役割として、写真撮影、受付、景品の受け渡し、そしてグループへの同行などもございますので、よろしくお願ひいたします。

今回、ご参加いただきますサッカーチーム、ディアブロッサ高田FCは高田川の堤防の近くに事務所があり、大変な強豪チームだそうです。こちらからは85名は参加される予定で、大変心強く思っております。

野球チームの大和高田ボーイズは、発足2年目のチームです。こちらは4月20日に1期生の試合がございますので、2期生のみの参加になります。監督さんからは、今後も催しがありましたら、ボランティア等でぜひ参加したいとお話しいただいておりますので、長いおつき合いができるればと考えております。

当日はさざんかホールが朝9時にしか開館しませんので、できるだけ前日の夜のうちに準備をしておいて、当日の開館と同時に受付を行いたいと思います。池木会長に挨拶をいただき、9時半までにはスタートが切れるかなと考えております。午前中約2時間ぐらいで終わる予定ですので、できるだけ多くのロータリアンの方のご参加をお待ちしております。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
3月25日	89	58	53	5	0	31	24	0	93.90%
3月11日	89	58	50	8	0	31	24	0	90.24%
3月4日	89	58	52	6	2	31	20	1	94.94%

※食品ロスの削減に努めましょう。(3月11日の弁当残数は4個)